

第 65 回評価監視委員会の開催について

第 65 回一般財団法人建設物価調査会評価監視委員会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

開催日時	2022 年 2 月 28 日（月）14：00～16：00	
開催場所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
出席委員 （五十音順）	鵜飼 誠（委員長（元会計検査院 第 1 局長）） 佐藤 淳（東邦監査法人 代表社員、公認会計士） 白戸 智（株式会社三菱総合研究所 スマート・リージョン本部 主席研究員） 高橋省三（一般社団法人自動車公正取引協議会 参与 名古屋経済大学 法学部教授） 宮本和明（パシフィックコンサルタンツ株式会社 社会イノベーション事業本部 技術顧問）	
当会	共通資材調査部 大谷忠広、康広誠己、小林法雅、小黒宏樹 第一土木調査部 隅田 隆、大澤 勝、島野誠司、若澤雄太 調査統括部 神田尚昭、平野光芳 監査審査室 今井 豊、吉田光正	
審議案件	案件	備考
	（定期調査） H形鋼（SS400）（東京）	「建設物価」2021 年 12 月号 26 ページ 掲載価格について、調査結果記録票、調査結果集計表等に基づき、調査方法、調査プロセス等を説明
	（受託調査） ガードレール （神奈川県秦野市）	受託調査について、調査票、調査報告書等に基づき、調査方法、調査プロセス等を説明
委員からの主な意見・質問 それに対する調査会からの回答等	別紙のとおり	
委員会による指摘 （不適切な点又は改善すべき点）	なし	

別紙

意見・質問	説明・回答
<p>1 定期調査について H形鋼 (SS400) (東京)</p> <p>○H-200×100 (以下、「ベースサイズ」とする) 以外についても毎月価格を調査しているのか。</p> <p>○「都市内現場持ち込み」とは輸送費込みの価格なのか。</p> <p>○輸入品は流通しているのか。</p> <p>○「在庫」とはメーカーの保有在庫、問屋の保有在庫のいずれであるか。</p> <p>○高炉メーカーと電炉メーカーがあるが、両社に品質の差はあるのか。</p> <p>○公共工事においても高炉品が指定される場合はあるのか。</p> <p>○ベースサイズの主な用途は何か。</p> <p>○「ひもつき」契約に対して「店売り」契約のほうが安価か。</p>	<p>○ベースサイズに対する規格間格差に変更がないかどうかを定期的に調査している。</p> <p>○指定現場までの輸送費を含んだ価格である。</p> <p>○流通量は国内需要に対してわずかである。</p> <p>○問屋の保有在庫である。</p> <p>○両社とも JIS 規格で定められた品質である。</p> <p>○高規格材など高炉品でしか調達できない製品はあるが、特に高炉品が指定されることはないと思う。</p> <p>○建築工事の小梁などが主な用途である。</p> <p>○メーカー、流通業者及び需要家の関係性や需給環境などで決まるため、どちらが安いとは一概に言えない。</p>

別紙

意見・質問	説明・回答
<p>2. 受託調査について ガードレール</p> <p>○配付資料に記載のある「防護柵の設置基準・同解説」とは、どのようなものか。</p> <p>○今回の調査対象資材は継続工事で使用する資材とのことであるが、調査依頼があった理由は何か。</p> <p>○発注者には各社の回答価格も報告をするのか。</p> <p>○価格は調査時点の価格か、それとも工事発注が迫った時点の価格か。</p> <p>○月刊「建設物価」未掲載品の調査依頼は多いのか。</p> <p>○ガードレールを実際に購入するのは工事発注者なのか。</p>	<p>○公益社団法人日本道路協会が発刊している技術図書である。</p> <p>○工事において設計変更が発生したため、調査依頼があった。</p> <p>○決定価格のみを調査結果として報告する。</p> <p>○調査時点の価格である。</p> <p>○調査依頼は多い。</p> <p>○工事発注者ではなく、施工業者が購入して設置する。</p>
<p>3 次回開催日について</p> <p>○次回評価監視委員会は、2022年6月下旬に開催予定。</p>	